

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表日：2022年3月29日

事業所名：一関市かるがも千厩教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	1	0	0	・家では出来ない遊びが出来るのでありがたいです。	個別指導専用のスペースがない為、1つの部屋をパーティションで区切って指導を行っています。また、物の配置を工夫し構造化を図っています。今後も工夫を重ねながらスペースを確保し、よりよい支援に努めます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	0	0	0		配置基準に基づいた職員を配置しておりますが、今後もよりよい支援のため、必要十分な職員配置に努めます。また研修機会の確保などにより、職員の専門性の確保に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	1	0	1		公共施設内の事業所のため、設備面の即時改善は難しいですが、出来る限りの環境改善に努めていきます。視覚支援を行うなどの情報伝達への配慮は今後も継続するほか、可能な限りお子様が落ち着いて活動に参加できるように環境づくりに努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	1	0	0	・もう少し広いと活動しやすいと思う。	事業所内の清掃を行う、空気清浄機を使用するなどにより清潔保持に努めているほか、現在は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、活動後の消毒作業を毎回行っています。活動内容により過ごしやすい環境整備をその都度行っていますが、公共施設の一部を活用していることもあり、活動スペースを確保は課題の一つです。限られた空間をつまく利用できるよう、今後も環境整備に努めます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	23	0	0	0		保護者からの聞き取りのもと、お子様一人一人の特性や興味関心、状況に合わせたアセスメント、モニタリングを行い、児童発達支援計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	0	0	0		個々の特性に応じた支援内容を盛り込み、関係機関との連携に努めています。今後もガイドラインの視点を考慮しながら適切な支援内容を設定できるように努めます。また児童発達支援ガイドラインの内容について、今後も職員間で共有しながら、理解を深めていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	0	0	0		お子様一人ひとりの状態や特性に合わせ職員間で協議しながら指導を工夫し、保護者との共通理解を図りながら支援を行うよう努めています。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	23	0	0	0		季節の活動を取り入れ、お子様の特性やその日の状況を加味しながら、主体的に取り組める内容を工夫しています。継続して実施することでお子様の成長を確認したい内容については複数回実施することもありましたが、今後はお子様の状況に合わせて、固定化することなくより有意義な活動となるよう内容を検討します。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	1	2	3	・コロナの関係で交流の場がない。	就園しているお子様が大半のため、事業所の支援内容としては交流の機会を設けていません。重度の障害を持っているお子様を対象とした近隣の保育園事業に同行していますが、今年度は対象となるお子様がいないため来年度に向けて調整中です。保育園事業については、感染症対策との折り合いをつけつつも積極的に利用できるよう今後も働きかけていきます。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	1	0		児童発達支援の提供開始にあたり、契約書及び重要事項説明書の内容について説明しています。今後はより丁寧でわかりやすい説明を心掛けるほか、必要に応じて説明の機会を確保するなど安心して支援を受けられる環境を整えます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	22	0	1	0		保護者の希望や要望、発達評価や発達検査の結果等を総合的に捉え、児童発達支援計画を作成しています。作成した計画は保護者への説明を行い、同意を得ています。今後はより丁寧な説明を心掛け、運営規定等の説明などを含めて安心して支援が受けられる環境を整えます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	21	1	0	1		活動後にフィードバックを行う際、療育で実施している内容やペアレント・トレーニングの手法を基にした声かけ、関わり方など、ご自宅でも実践できるような内容をお伝えしています。また、必要に応じて子育て支援センター主催のペアレント・トレーニングへの参加を促すなど家族支援を行っています。今後はわかるがも干渉教室でのペアレント・トレーニングの講和を開催するなど、より丁寧な説明を心掛けながら保護者支援を行います。今後も教室の支援内容がご家庭でも活かせることを目指し、ご自宅での不安なお気持ちを少しでも軽減できるよう、より有意義な支援を心掛けます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	23	0	0	0		連絡シートの記入や活動後のフィードバックを行い、共通理解に努めています。引き続き保護者がお話ししやすい環境を醸成するなど、より一層共通理解の促進を図ります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	0	0	0		活動後のフィードバックや、随時相談に応じる体制を整備し、必要に応じて関係機関の協力を得ながら支援提供に努めています。今後も活動時の相談のほか面談の機会の確保など、支援の充実に努めます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18	3	0	2		今年度は年間2回、保護者同士の交流の場を設けました。来年度はより多くの保護者が参加できるよう、皆様のご希望を伺いながら、よりよい連携支援のために実施の在り方や内容を検討します。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	0	0	0		活動後のフィードバックや、随時相談に応じる体制を整備し、必要に応じて関係機関の協力を得ながら支援提供に努めています。引き続き、迅速かつ適切な対応を心掛けます。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	0	0		マカトンサインや写真、絵カード等を用い、お子様の状況に応じて個別に支援を行っています。また保護者への連絡等は、必要に応じて書面で提供するなどの配慮を行っています。引き続き個々の状況に応じた配慮を行います。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	1	1	0		毎月のおたよりや、親の会だよりの発行を行っています。また、自己評価の結果につきましてはR4年3月末までにホームページ等で公開します。今後はよりわかりやすい情報発信に努めます。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	23	0	0	0		随時、職員間での個人情報の取り扱いについて注意喚起を行っています。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	14	4	2	3		緊急時の避難訓練を年2回実施しており、そのうち1グループに訓練への参加をお願いしております。訓練へ直接参加いただくグループが少ないことから、訓練実施の様子がわかりづらいとご意見を頂戴することが多いため、周知方法などについて今後も引き続き検討します。また緊急時や感染症等の対応に関しての周知・説明についての充実を検討します。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	5	2	6		市民センター全体で様々な災害の発生を想定した避難訓練を行っています。今後も定期的な訓練の実施を継続するほか、周知方法を検討し保護者が分かりやすいよう周知に努めるほか、よりよい訓練の在り方について検討します。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	22	0	0	1		年齢、個々のねらいに応じた活動を楽しく行えるよう設定しております。お子様が楽しみながら参加していただけるよう、お子様の楽しい気持ちを引き出すことができるような活動内容の工夫や環境整備に努めます。
	23 事業所の支援に満足しているか	23	0	0	0		これからも指導員間での情報共有とスキルアップを行い、専門性を高めて更に満足いただける支援を提供します。教室の支援内容がご家庭でも活かせるような活動とし、より有意義な支援を目指します。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。